

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

1 実践テーマ	【I・III・V】
2 実施対象者	大川市立大川中学校 1年生61名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（保健体育、総合的な学習の時間） ② 行事名 ③ その他（ ） <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ① パラリンピアンを講師に招き、努力することの大切さ、あきらめない、フェアプレーの大切さを学ぶ。 ② パラリンピック競技の体験を健常者・障がい者合同で行い、他者への共感や思いやりを育てる。 ③ オリンピックやパラリンピックは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解させる。 ④ オリンピアン・パラリンピアン活躍を通じて、努力の尊さや他者への尊敬等のスポーツの価値を身につける。
5 取組内容	<p>(1) 保健体育科授業（1年生2学級 61名）</p> <p> 単元名 「国際的なスポーツ大会とその役割」</p> <p> 主眼・・・スポーツには、さまざまな国際大会があり、オリンピックやパラリンピックは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①クイズに答えながら、オリンピックやパラリンピックの歴史等を知る。 ②オリンピックやパラリンピックの開催される理由について考える。 <ul style="list-style-type: none"> i)自分の考えをワークシートに書く。 ii)班で話し合い、意見を発表する。



(オリ・パラのクイズ)



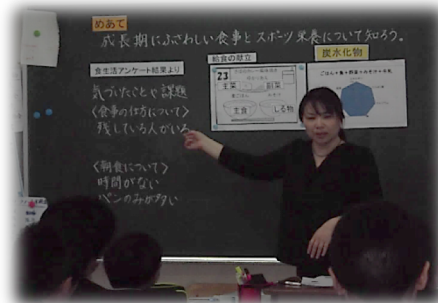
(小集団の話し合い)

(2) 外部講師 栄養教諭による授業

保健体育科授業(1年生2学級61名 2年生2学級81名)

単元名 「食生活と健康」

主眼・・・バランスの良い食事の大切さと体の諸器官を高めるための栄養素について理解しよう。



- ① 自分たちの食生活を振り返り、必要なエネルギー量や栄養素を学ぶ。
- ② 張本智和選手(中学生卓球)の食事のメニューから、運動能力を高めるために必要なエネルギー量や栄養素を学ぶ。

(3) 総合的な学習の時間(1年生2学級 61名)

単元名 「車いすバスケットボールを体験しよう」

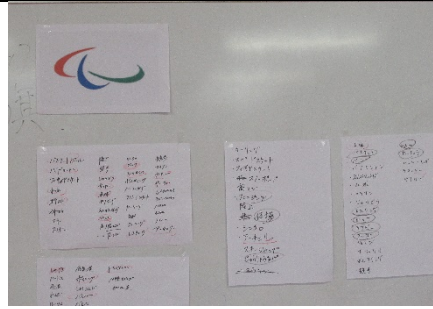
目標

- ・パラリンピアンを講師に招き、努力することの大切さ、あきらめない心、フェアプレーの大切さを学ぶ。
- ・パラリンピック競技の体験を健常者・障がい者合同で行い、他者への共感や思いやりを育てる。

流れ

① 講演会

シドニーパラリンピック銅メダリストの八島京子さんを含め5名の車いすバスケットボールの選手を招き、「努力すれば必ず目標は達成できる」と題した講話を行なう。生まれながらの障がいでも車いすで生活する中で目標を持って努力する大切さや「車いすの生活には工夫が必要だが健常者の生きる知恵と同じ」であることを講話していただく。実物のパラリンピック銅メダルの実物に触れることは生徒の印象に残った。



② 車いすバスケットの体験

車いすを動かすこと、車いすに座った状態のままボールをリングまで投げるなど、悪戦苦闘しながらも初めての車いすバスケットを生徒全員が体験することができた。



6 主な成果

- ① 体験することで体を使って理解することができた。
- ② パラリンピックに対する興味関心が高まりや応援する意欲が見られた。
- ③ オリンピアンやパラリンピアンがアスリート生活を通じて経験してきた夢や目標をもつ価値と重要性を感じ取れた。
- ④ 障がいの有無に関係なく、全ての人が可能性をもっていることに気づき、可能性に挑戦することの素晴らしさを実感できた。
- ⑤ パラスポーツを進める上での課題を知ることができた。

〈 生徒の体験後の感想 〉

車いすに初めて乗って操作が難しかったけど楽しく体験できた。障がい者施設で働いている母の話で興味があり、実際に見てみるとタイヤのにおいがしたり、ぶつかって“キッ”という音がしたり、とても迫力がありすごかった。パラリンピックについて深く考えることはあまりなかったけど今回の授業でオリンピック・パラリンピックに今まで以上に興味を持つことができました。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- ① 事業を計画する中で、地域にコーディネートしてくれる人材を見つけ、自治体や教育委員会との連携ができた。
- ② 生徒全員が体験できるように1年生対象で行った。(昨年度より)

8 主な課題等

- ① 単発の授業になりがち。年間指導計画に位置づける。(カリキュラムマネジメント)
- ② 講師依頼と必要な用具等の借用のための、予算とコーディネーターの確保

9 来年度以降の実施予定

- ① 年間指導計画に位置づけて実践を行う。(車いすバスケ1年生)
- ② オリパラに色々な視点から興味を持つ取り組みを行う。